

年度 2008 学期 前・後期	曜日・校時 前火3 / 後木4	必修選択 選択	単位数 2																																																												
授業科目/(英語名)	口の健康・体の健康 Oral health and physical health																																																														
対象年次 1・2 年次	講義形態 講義	教室																																																													
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 総合科学科目																																																														
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 吉田 教明 /Eメールアドレス:nori@nagasaki-u.ac.jp /研究室:歯学部 歯科矯正学講座 /TEL:095-849-7667(7669) /オフィスアワー:随時、またはメールにて																																																															
担当教員(オムニバス科目等)	岡田幸雄, 飯島洋一, 吉田治志, 林 善彦, 細矢由美子, 藤井哲則, 澤瀬 隆, 鮎瀬卓郎, 佐々木康成, 吉田教明, 水野明夫, 古賀義之, 石飛進吾																																																														
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標																																																															
<p>授業のねらい: 一般の人には歯科=虫歯という捉え方がなされているが、歯科口腔領域には、様々な疾患があり、その多くが全身の健康維持に影響を及ぼす。授業を通して、一般に知られていない歯科口腔領域の問題など、口の健康が体の健康に及ぼす影響を理解する。</p> <p>授業方法: 必要に応じ、授業に沿ったプリント資料を配布する。参考書は適宜紹介する。</p> <p>授業到達目標: 口腔は、呼吸、摂食、咀嚼、発音、感覚、美的表現など多様な機能を有している。これらの機能の喪失による全身影響や、再建する方法を広く理解すること。</p>																																																															
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)																																																															
<p>概要 歯科では歯のみならず、さまざまな口腔の器官を扱う。さらに、これらの器官は全身に影響を与える。ここでは、このような観点から、実際の歯およびその他の器官の機能や、最新の治療について学ぶ。</p> <p>授業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>味覚の発達と健康</td> <td>生理</td> <td>岡田幸雄</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>歯の脱灰と再石灰化</td> <td>予防</td> <td>飯島洋一</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>障害者/有病者の口腔ケアと問題点</td> <td>特歯</td> <td>吉田治志</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>健常者の口腔管理と健康</td> <td>1保存</td> <td>林 善彦</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>歯の色彩・白い歯</td> <td>小児</td> <td>細矢由美子</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>顎関節障害・咀嚼障害</td> <td>2補綴</td> <td>藤井哲則</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>インプラントによる歯の再建</td> <td>1補綴</td> <td>澤瀬 隆</td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>口腔領域における痛みのコントロール</td> <td>麻酔</td> <td>鮎瀬卓郎</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>小児の成長発育と歯科治療</td> <td>小児</td> <td>佐々木康成</td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>最新の審美歯科治療</td> <td>矯正</td> <td>吉田教明</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>口・顎の病気と外科診療</td> <td>1口外</td> <td>水野明夫</td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>矯正歯科治療と形態的变化</td> <td>矯正</td> <td>古賀義之</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>摂食・嚥下障害とリハビリテーション</td> <td>特歯</td> <td>石飛進吾</td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>グループディスカッション</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>総括</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				第1回	味覚の発達と健康	生理	岡田幸雄	第2回	歯の脱灰と再石灰化	予防	飯島洋一	第3回	障害者/有病者の口腔ケアと問題点	特歯	吉田治志	第4回	健常者の口腔管理と健康	1保存	林 善彦	第5回	歯の色彩・白い歯	小児	細矢由美子	第6回	顎関節障害・咀嚼障害	2補綴	藤井哲則	第7回	インプラントによる歯の再建	1補綴	澤瀬 隆	第8回	口腔領域における痛みのコントロール	麻酔	鮎瀬卓郎	第9回	小児の成長発育と歯科治療	小児	佐々木康成	第10回	最新の審美歯科治療	矯正	吉田教明	第11回	口・顎の病気と外科診療	1口外	水野明夫	第12回	矯正歯科治療と形態的变化	矯正	古賀義之	第13回	摂食・嚥下障害とリハビリテーション	特歯	石飛進吾	第14回	グループディスカッション			第15回	総括		
第1回	味覚の発達と健康	生理	岡田幸雄																																																												
第2回	歯の脱灰と再石灰化	予防	飯島洋一																																																												
第3回	障害者/有病者の口腔ケアと問題点	特歯	吉田治志																																																												
第4回	健常者の口腔管理と健康	1保存	林 善彦																																																												
第5回	歯の色彩・白い歯	小児	細矢由美子																																																												
第6回	顎関節障害・咀嚼障害	2補綴	藤井哲則																																																												
第7回	インプラントによる歯の再建	1補綴	澤瀬 隆																																																												
第8回	口腔領域における痛みのコントロール	麻酔	鮎瀬卓郎																																																												
第9回	小児の成長発育と歯科治療	小児	佐々木康成																																																												
第10回	最新の審美歯科治療	矯正	吉田教明																																																												
第11回	口・顎の病気と外科診療	1口外	水野明夫																																																												
第12回	矯正歯科治療と形態的变化	矯正	古賀義之																																																												
第13回	摂食・嚥下障害とリハビリテーション	特歯	石飛進吾																																																												
第14回	グループディスカッション																																																														
第15回	総括																																																														
キーワード	歯、顎関節、インプラント、審美歯科治療、咀嚼、摂食、嚥下																																																														
教科書・教材・参考書	教科書は無く、教材は担当教員の判断で配布を行う。また、授業にて適宜、参考書など紹介する。																																																														
成績評価の方法・基準等	レポート75点。グループディスカッション25点。 レポートは毎回提出する。レポートの評価の基準は、与えられたテーマについて、適切なキーワードを用い説明できているかを判断基準とする。グループディスカッションでは、取り組み状況、貢献度や理解度を評価の対象とする。																																																														
受講要件(履修条件)	なし																																																														
本科目の位置づけ/学習・教育目標	歯科医療領域は進化を遂げ、全身への影響を見据えたものに発展している分野である。/口腔領域の疾患を理解し、全身の健康に及ぼす影響を学習する。																																																														
備考(準備学習等)	各授業の内容やプリントなどを復習する。																																																														